

経営革新の実現へ向けて

経営革新の実現には正しい手順による実行計画づくりの作成が欠かせません。

〔経営革新計画作成手順〕

① 経営理念と経営目標の明確化

- ・ 経営理念

当社が存在する社会的使命・価値を経営者の言葉で明文化して価値観を共有します。

- ・ 経営方針

経営を行う際の原則・方法

- ・ 経営目標

具体的な数値目標として計画することが重要です。

日産自動車のカルロス・ゴーン社長は「数字で表現できない目標は、目標になり得ない」という信念のもと、平成 12 年の春から実施している経営計画「日産 180」では、目標販売台数 100 万台、連結の売上高対営業利益率 8%、有利子負債ゼロを目標として掲げ平成 15 年に達成しています。外人社長だから、大企業だから出来たと思いがちであるが違います。

トップの強力なリーダーシップと社員との良好なコミュニケーションでやる気を引き出しその気にさせたからで、企業の大小は関係ありません。むしろ、中小企業の経営者のほうがリーダーシップの発揮やコミュニケーションをとり易い環境にあるといえます。

② 現状分析（SWOT 分析）

- ・ 自社の強みと弱みを把握（強み：Strength、弱み：Weakness）

自社能力の棚卸しを行って自社の中核となる能力を明らかにします。

- ・ 市場における機会と脅威の把握（機会：Opportunity、脅威：Threat）

1 次データ（生データ）、2 次データ（各種統計データ）等で外部環境分析を行って外部環境の変化が当社にもたらす機会、または脅威を明らかにします。

③ 経営戦略立案

- ・ 事業領域（ドメイン）の検討

事業領域は、企業が長期的に自社の存立を委ね、経営資源を効率的に投入していく市場内の生存領域で、まさに企業戦略の中核です。戦略は市場環境によって方向付けられます。経営資源をどのように市場ニーズに最適に適応させるかであり、「選択と集中」の意思決定の決断が求められます。

- ・ 経営計画工程表の作成

目標数字を年度別（3～5 年度）の計画数値として落とし込んで作成します。